

## 国際心血管薬物療法学会学術集会で発表を行いました

私は、2016年10月13日から16日にかけて中国の北京で開催された The 27<sup>th</sup> Great Wall International Congress of Cardiology (GW-ICC)に参加しました。今年度のGW-ICCは、循環器領域の国際学会である International Society of Cardiovascular Pharmacotherapy (国際心血管薬物療法学会学術集会)など5つの国際学会と共に開催された合同学術集会でした。北京オリンピック競技場に隣接する北京国家会議センターでは多くの会議室でシンポジウムやオーラルセッションが行われていました。

私は自身の研究テーマである「Curcumin analogue, Y-030, effectively suppressed hypertrophic responses in cardiomyocytes」についてポスター発表を行いました。内容は当研究室で見出した心肥大抑制効果を有するクルクミンの構造類似体である Y-030 が、クルクミンよりも低濃度で効果的に心筋細胞肥大反応を抑制したというものです。GW-ICC は、循環器領域の臨床研究よりも基礎研究の発表が多く、自身の研究に関連する内容もあり、今後研究を進めていく上で非常に勉強になる良い機会、有意義な時間でした。

静岡県立大学薬食生命科学総合学府 薬科学専攻 分子病態学講座  
博士前期課程1年 清水果奈

関連リンク：静岡県立大学 分子病態学教室 <http://w3pharm.u-shizuoka-ken.ac.jp/byoutai/>  
GW-ICC (英語のページです) <http://en.gw-icc.org/>

